

平成30年度 城南中の教育

学校教育目標

自ら学び、心豊かで、心身ともにたくましく
郷土愛に満ちた、次世代を生き抜ける生徒の育成

経営の基本方針

- 人権尊重の精神を基底にすえる。
 - 学校は生徒の命を預かり、守り、育むところ
 - ・生徒の安全はすべてに優先する。
 - ・生徒の学ぶ権利を保障するところ。
 - ・生徒が将来を生き抜く力を培うところ
- 誇りと情熱を持ち、謙虚に教育実践にあたる

めざす学校像

子どもも職員もわくわくと登校し
笑顔で下校する学校

- 職員と子どもの笑顔があふれる学校
- 地域に根ざし、保護者に信頼され、地域に誇れる学校

めざす生徒像

自主 意欲的に進んで取り組み責任を持つ生徒
何事にも挑戦し創造力・発信力のある生徒

正義 正しいと思うことを堂々と言い、行う生徒
正しいことを認め、支える集団

協力 互いの違いを認め、尊重できる生徒
他者と協働し、高めあえる生徒

めざす教師像

一人ひとりを大切にし、
鍛え、伸ばす教師

- 授業を大切にし、確かな学力を育む教師
- 生徒とともに、日々成長をめざす教師
- 豊かな人権感覚と教職員としての矜持をもった教師

本年度の経営の重点努力事項

豊かな心の育成【徳】

- ① 心の教育の充実
 - ・自尊感情と共に自己有用感を高める指導
 - ・エンカウンターによる居場所づくり
互いに認めあい、支えあう学級集団
- ② 道徳授業の充実
 - ・「考え、議論する」道徳授業の創造
 - ・重点項目
生命の尊重 相互理解 向上心
- ③ 基本的生活習慣の定着
 - ・あいさつと返事 ・聴く力(態度)の育成
 - ・はつらつとした明るさ、元気さ
- ④ 人権教育の充実
 - ・感性を豊かに育む言語環境の整備
 - ・互いの違いを認め合う仲間づくり
 - ・不登校生への関わりとケース会議の充実

確かな学力の向上【知】

- ① 授業力を高めあう職員集団
 - ・ねらいが明確で、振り返りのある授業
 - ・授業UDの視点に立ち、全員が楽しく学び合い「分かる・できる」授業づくり
 - ・研究授業実施による校内研修の充実
「共通実践項目と全員授業」
 - ・ICTの効果的活用の研修の充実
 - ・気軽に相談しあえる雰囲気づくり
- ② 基礎的・基本的事項の徹底
 - ・学習規律の徹底と学習集団づくり
 - ・教えあい、学びあいの場の確保
 - ・個のニーズに応じたきめ細やかな指導や支援の充実
 - ・朝自習や学力定着週間等の計画的運用
 - ・家庭と連携した効果的な家庭学習の定着

健やかな体の育成【体】

- ① 体力づくりの推進
 - ・運動の喜びを味わわせる体育授業の充実
 - ・外遊びの推奨
 - ・適正で、活気ある部活動の充実
- ② 健康で安全な生活習慣の育成
 - ・自己管理能力の育成
 - ・家庭と連携した、情報モラル教育の推進
早寝・早起き・朝ごはんの推進
 - ・校内安全点検の徹底と後処理の迅速化
- ③ 食育の充実
 - ・望ましい食習慣の形成とマナーの向上
 - ・感謝の心の醸成

教育環境の整備

- ① 整備された、潤いのある教育環境
 - ・整理され整然としたあたたかい教室づくり
 - ・心を耕す季節感のある校内掲示の工夫
- ② 環境教育の推進
 - ・無言掃除の徹底 始め・終わりの挨拶・反省の徹底
 - ・生徒会による主体的な実践活動
 - ・地域と連携した花いっぱいの学校づくりの推進

地域に開かれた学校づくり

- ① 学校情報の積極的な発信
 - ・学年、学級便り、各種便り、ホームページ等による積極的な情報発信と啓発活動
 - ・土曜授業を活用した、地域への公開授業
- ② 地域の教育力の活用
 - ・地域の人材を積極的に取り入れた教育活動の充実

特別支援教育の視点をすべての教育活動の基盤とする

～ 個に寄り添い、個の課題に応じた指導・支援の充実 全職員による具体的支援体制 ～

家庭 ・ 幼保小中 ・ 地域との連携推進